

秋田市教育委員会
会 議 録

令和4年6月定例会

記録者

秋田市教育委員会令和4年6月定例会会議録

1 日 時 令和4年6月24日(金曜日)
午後3時30分～午後4時10分

2 場 所 5-A会議室

3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員

4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
総務課参事
学事課長
学校教育課長
教職員室長
教育研究所長
学校適正配置推進室長
生涯学習室長
総務課長補佐
総務課副参事
総務課主席主査
学校適正配置推進室主席主査
総務課主任
総務課主事

5 議 題

【教育長等の報告】

- (1) 令和4年6月市議会定例会の審議状況について
- (2) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

6 議 事 午後3時30分開会

【欠席の報告】

委員1名から定例会を欠席する旨の届出があったことについて、教育長が報告した。

【令和4年5月定例会および6月臨時会会議録の承認】

令和4年5月定例会および6月臨時会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【教育長等の報告】

(1) 令和4年6月市議会定例会の審議状況について

教育長 報告(1)「令和4年6月市議会定例会の審議状況について」、事務局から説明願う。

総務課長 令和4年6月市議会定例会における教育委員会関係の審議状況について報告する。

始めに、令和4年度6月補正予算（案）および令和4年度6月補正予算（案）の追加提案分についてである。

市立図書館新型コロナウイルス感染症対策事業については、図書除菌機の概要に係る質問のほか、学校図書館にも図書除菌機の整備をしてはどうかという質問があり、市立図書館での使用状況や効果を検証したうえで検討する旨を説明した。

また、教育産業委員会では、「秋田市立旭川小学校管理・普通教室棟大規模改造建築工事請負契約を締結する件」についての審議において、本工事の特徴について質問があり、教室の仕切りの変更を行うほか、出入口のバリアフリー化を行う旨を説明した。

陳情として提出された「教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引上げに関する意見書の提出について」は、不採択となっている。

その他として、「繰越の報告について」「学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について」の2件を報告した。

報告は以上である。

教育次長 ただいま総務課長が説明した各議案等については、6月27日の本会議で原案のとおり可決される予定である。

委員 議員の教育行政に対する期待度、関心度の高さを感じた。特に、コロナウイルス感染症の影響でICT化が一気に進んだ中で、様々な疑問等があると感じた。議事録は公開されているが、共通認識を図るために、ホームページ等でよくある質問をQ&A形式で公開すれば、より市民、保護者、議員にも周知を図られるのではないかと思った。

委員 マンションが駅前周辺に5棟建設されることを最近よく見聞きするが、今までマンションができたことで子どもの数が増加する傾向があったかどうか、5棟増えることで今の時点で子どもの数がどのくらい増えるのかという見通しがあれば教えていただきたい。

学校適正配置推進室長 中通地区にマンションが建設されるということで児童数が増えるのではないかという話をいただいている。推計を見ると、中通地区の人数が増える見込みがある。今現在、1歳から6歳までの推計であるため、この後の推計が出ていない状況だが、一時的に人数が増えても、また減っていくという状況も考えられるため、引き続き推移を見ながら協議を進めていきたいと考えている。

総務課長 過去の例では、南ヶ丘ニュータウンを開発した際、上北手小学校の児童数が増えたという例はある。ただし、開発された宅地のほぼ全てに住宅が建てられ、その後増えていないという状況である。

教育長 駅前周辺では中心市街地活性化施策もあり、マンションの建設だけでなく、若い世代が少しずつ世代交代で入ってきている様子もうかがえる。今議会では、中学校の運動部活動の地域移行を質問した議員もいた。その状況についてはどうか。

学校教育課長 今議会で中学校運動部活動の地域移行について取り上げられ、マスコミでも報道されているが、本市としては、集中期間として令和5年度から令和7年度までの3年間で土日の部活動を地域移行するという方針の提言が出されたため、それに向かって準備をしている。県では、6月29日に県教育委員会と中体連等が集まって会議を行うようである。加えて、吹奏楽部等の文化部についても文化庁が動いており、県と吹奏楽連盟が話し合う会を設けるという話も聞いている。それらの動きも見ながら秋田市教育委員会としては、関係部局である観光文化スポーツ部スポーツ振興課と連携しながら今後の方向性を探るために、課題を洗い出すことを考えている。

委員 地域の方々が、小中学生のスポーツ活動に大変興味があって、多く関わってきており、また自分が体験してきた人たちであるため、大きく変わることに対する不安があるにもかかわらず、文部科学省やスポーツ庁から言葉だけの説明しか出ていないように感じられる。秋田県内でも町村で1校しかない学校が取り組んでいるとのことであるが、秋田市は地域差があり、大規模、中規模、小規模の学校があるため、なかなか難しいと思う。これから取りかかるに当たって、言葉だけだと分かりにくい、イメージできないということがあるかと思うので、情報をどういう形で伝えていけばよいかというところも相談していただきたい。大きな改革になると思うので、大変だとは思いますが力を合わせて進めてもらいたい。

学校教育課長 保護者、地域の方々、学校の職員も含めてだが、地域移

行という言葉が先走りしてイメージが一致していないと感じられる。私たちの認識では、少なくとも土日は学校は関わらないというイメージを持っているが、同じようなイメージを地域の方々や関係団体、関係部局が共通認識を持つことから始めなければならないと考えている。

教育長

土日の学校の部活動を外部の人に教えてもらおうという発想ではなく、土日のスポーツ活動は、学校の部活動から地域スポーツになるという考えである。いずれは平日まで持って行きたい。小学校もスポーツ少年団の形ができたように、国も様々なパターンを例示しているため、ゴールが見えない状況である。教育委員会、観光文化スポーツ部、スポーツ協会やその他地域のスポーツクラブの代表の方々、競技団体等による話し合いにより、目指すところをきちんと確認した上でそれぞれの立場でやれることを考えていきたいと思う。

委員

スポ少をここまで育て、スムーズにやれるようになったのには相当時間がかかっている。個々の特徴をうまくコントロールしながら指導していかなければならないため、指導者は非常に資質が求められると思う。子どもたちの発育や精神を健全に育てるとというのが本来の目的だと思う。指導者としての資質がある人をきちんと育てるシステムが必要になっていくかと思う。例えば、近隣の盛岡市等と情報交換しながら進めてほしいし、地域の方々に対してもきちんと説明し、情報提供すればスムーズに行くのではないかと思う。

委員

令和5年度からというのはすぐであり、準備等大変だと思う。また、目指すゴールの共通認識を持つことが大事だと思う。全国の先進事例を集めたり、情報交換し、よい形にしていけたらと思う。

教育長

全国的な教育長の会議等でもこの件に敏感になっており、町に中学校が1校という所は割と進んでいるようで、地域

の方々が部活をみるという形になっているが、中核市レベルでは、様々な規模の中学校を持っているためにどこから着手してよいか分からないという話になっている。次の機会でも、十分に情報交換したいと思う。

※ 教育長等の報告(1)については、以上のとおり終了した。

(2) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

教育長 報告(2)「学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について」、事務局から報告願う。

学校適正配置推進室長 (資料に基づき説明)

委員 下新城小、金足西小学校統合検討委員会では、統合した後使用する校舎の協議ということだが、スクールバスの運行計画等のシミュレーションについて、両校のシミュレーションを事務局で準備するということか。

学校適正配置推進室長 どちらに通学することになっても距離的にスクールバスが必要になると考えている。まだ、どちらの校舎を使用するかは決まっていないが、どちらも想定できるシミュレーションを提示したいと考えている。

委員 両方の立場でシミュレーションを見ると、1の(1)のアの2つ目(資料1ページ)にあるが、それぞれの校舎を使用した場合の課題の整理が一つの糸口になっていくと思うので、それぞれの校舎を利用した場合の課題をはっきりさせるようなシミュレーションの提示をお願いしたい。

学校適正配置推進室長 十分調査研究をした上で提示したいと考えている。現在、金足西小学校には下新城小学校の学区から大半の児童が通っているという現状がある。これは、通学手段や利便性を考えた際にこういった現状になっているため、これも課題の一つと捉えているので、これも踏まえて現行のスクールバスの基準との照合等を行い、子どもたちの安全な通学手段を確保したいと考えている。

委員 現時点で金足西小学校に下新城小学校の学区から通っている児童が多いということだが、その子たちはスクールバ

スがない中でどのような方法で通っているのか。

学校適正配置推進室長 下新城中野の県立大学周辺の子どもたちが大半であり、路線バスで通っている。ただし、民間のバス会社に便宜を図っていただいているようなので、特発バスという形での運行になっている。

教育長 その子どもたちが路線バスを使っているということは、本来であれば下新城小学校の学区だが、下新城小学校への通学に負担を感じているということか。

学校適正配置推進室長 そのとおりである。今後この2校の統合を検討する上で必ず重要になってくると思うので、十分意見・要望を踏まえながら検討していくこととしている。

教育長 元の学区の人数でいくと、下新城小学校の方が多いうことにはなる。

委員 スクールバスを運行することによって元の下新城小学校学区の児童は非常に利便性が良くなる。

学校適正配置推進室長 現時点でも下新城中野地区からスクールバスを運行してもらえれば、下新城小学校に通いたい方がたくさんいるという意見を伺っているので、それも踏まえながら検討していくこととなる。

委員 今後マイタウンバスを使う場合もあると思うが、スクールバスが必要な学校の校数、見通しはどうなっているか。

学校適正配置推進室長 来年4月に統合を予定している豊岩中学校、下浜中学校については、生徒がマイタウンバスを利用することとしているが、太平中学校については、マイタウンバスや路線バスの利用が見込まれないので、市でスクールバスを運行したいと考えている。なお、令和6年度には、下北手中中学校が統合になるので、城東中学校との距離等で条件を整理し、また、太平中学校とも一体となった運行も考えていかなければならないと考えている。さらに、令和7年度には、広面小学校、太平小学校、下北手小学校が統合する予定であるが、マイタウンバスや路線バスの利用ができないため、市でスクールバスを運行することを考えている。こちらは小学生であるため、発達段階に応じて手厚くすることを検討しなければならないと考えている。

- 委員 今議会の一般質問でも、雄和中学校のスクールバスについての質問があったが、地域の方々は様々な要望もあると思うので、財政の負担にならない範囲内で要望を聞きながら進めてほしい。
- 学事課長 雄和小学校のスクールバスの一部に乗車人員に余裕があるので、それに中学生を乗せられるのではないかとこの質問であったが、このバスは、旧雄和町の4小学校を統合したことで、雄和小学校に通う児童用のスクールバスとして運行しているものである。なお、旧大正寺中学校が雄和中学校に統合された際に、旧大正寺中学区から通う中学生に対しては、別のスクールバスを運行している。雄和小学校のバスは、現在8ルート運行しており、一部のバスは満席になっていないが、将来的な課題として検討していく。
- 教育長 一部のルートで空いているから乗せるということは大きなルール変更であり、それはできないと考えているところであるが、将来的な課題である。小学6年生まで乗っていて、中学生になると行く校舎が同じなのに乗れなくなったという考えもあるかもしれないが、発達段階の違いも踏まえた上での対応である。
- 委員 1の(2)(資料1ページ)の土崎小学校と土崎南小学校だが、出てきた意見からまだこれからという印象を受けた。イ(資料1ページ)に各所属団体で意見集約とあるが、所属団体とはどういう団体があるのか。また、どういう形で意見を集約していくのか。
- 学校適正配置推進室長 検討委員会委員にはPTAの代表者、各地区の代表者があり、主な団体としては地域振興会、町内会などがある。今回、具体的にどちらの校舎を使うのかという議題に絞られてきたので、この点について、それぞれの団体が意見集約することとしている。
- 委員 所属団体ごとではなく、学校ごとに意見集約するのか。
- 学校適正配置推進室長 学校単位で組織する各所属団体ごとに意見集約することである。
- 教育長 統合後に使用する校舎が決まると進展が見込めるが、そこに至るまでには、ある程度の時間を要すると感じている。

学校適正配置推進室長 2校の組合せは了承が得られている中で、統合後にどちらの校舎を使用するかとなった場合、地域や保護者の思いがあるのでなかなか難しいところはあるが、地域の意向を充分踏まえて進めたい。

委員 今までも地域の声を聞きながらまとめてきた経緯があると思うので、この2校についても進展していくことを祈念している。

※ 教育長等の報告(2)については、以上のとおり終了した。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 7月定例会の日程等についてお知らせする。7月定例会については、7月27日（水曜日）午後3時から開催する予定である。

教育長 7月定例会については、7月27日（水曜日）午後3時から開催予定とのことである。委員の皆様、よろしく願います。

午後4時10分閉会